

4

室内装備品の使いかた

エアコン

吹き出し口の調整	4-2
吹き出し口表示と使用目的	4-3
オートエアコン	4-4

オーディオシステム

あらかじめ知っておいていただきたいこと	4-9
AM/FM電子チューナー・CDプレーヤー	4-12
FORESTER SOLID FORCE SOUND SYSTEM (CLARION製)	4-18

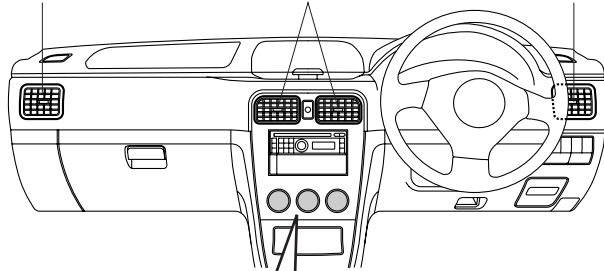
室内装備

カップホルダー	4-30
ボトルホルダー	4-31
サンバイザー	4-32
小物入れ	4-33
マルチボックス	4-39
サブトランク	4-40
トノカバー	4-41
電源ソケット	4-42
カーゴフック	4-44
買い物フック	4-45
室内の照明	4-47
時計	4-50

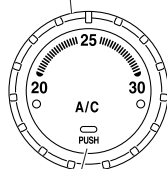
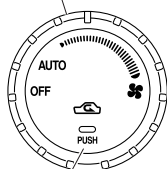
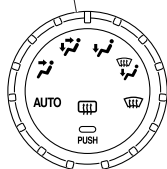
エアコン

吹き出し口の調整

左側吹き出し口 中央吹き出し口 右側吹き出し口



吹き出し口切り替えダイヤル 温度調整ダイヤル
風量調整（ファン）ダイヤル

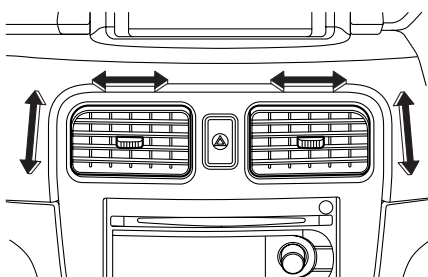


内外気切り替えスイッチ A/Cスイッチ（冷房・除湿機能）

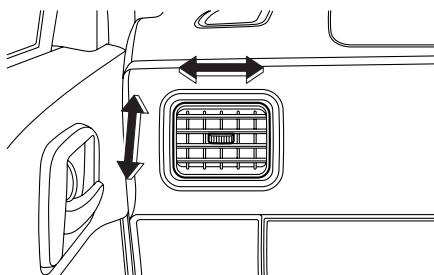
400854

●吹き出し口

吹き出し口のノブを左右に、また吹き出し口全体を上下に動かして、風向きを調整します。



400667

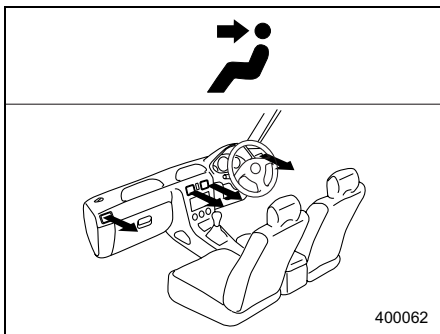


400061

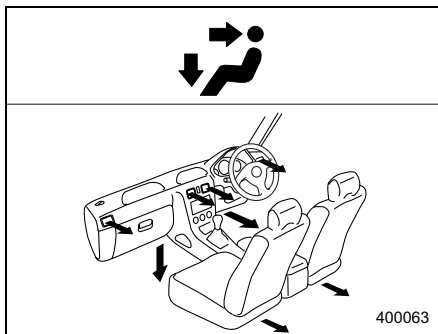
吹き出し口表示と使用目的

使用目的に合わせて吹き出し口を選択してください。

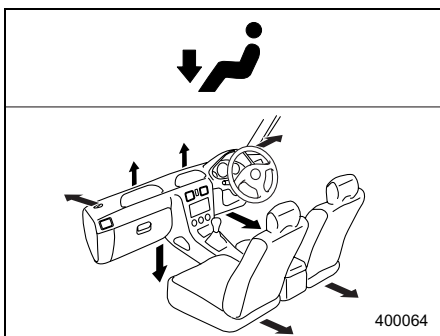
●上半身に送風したいとき



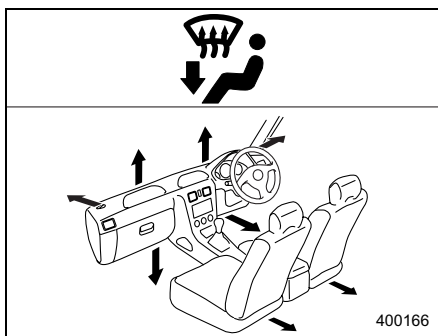
●上半身と足元に送風したいとき



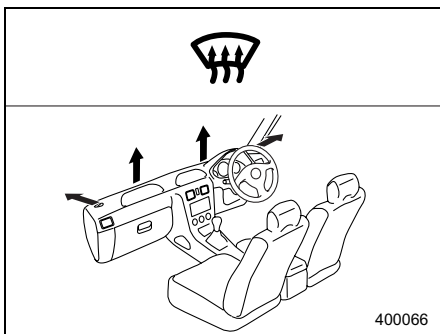
●足元に送風したいとき



●足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



●窓ガラスの曇りを取りたいとき



室内装備品の使いかた

オートエアコン




エンジンをかけているとき、風量調整（ファン）ダイヤルを「OFF」以外の位置にすると作動します。冷房・除湿をするときは、さらにA/Cスイッチを押します。風量調整（ファン）ダイヤルを「OFF」にすると止まります。

■オートでの使いかた

- ① 温度調整ダイヤルを回し、希望温度に設定します。
- ② 吹き出し口切り替えダイヤルを「AUTO」位置にします。
- ③ 風量調整（ファン）ダイヤルを「AUTO」位置にします。
- ④ A/Cスイッチを長押し（1秒以上）して、オートモードにします。
- ⑤ 内外気切り替えスイッチを長押し（1秒以上）して、オートモードにします。



アドバイス



- エンジンがかかっているときにスイッチを操作してください。
- 冷房中に吹き出し口から白煙が出ているように見ることがあります。これは湿度の高い空気が急激に冷やされて起こる現象で、異常ではありません。
- 停車中の冷房効果を上げるため、アイドリング回転が高くなります。オートマチック車はクリーブ現象が強くなりますので、ブレーキを確実に踏んでください。
- 炎天下に駐車したときには、冷房を使う前にウィンドウを全開にするなどして熱気を追い出してください。
- 室内のにおいが気になるときには消臭剤を使って消してください。空気が汚れているときや、タバコを吸うときは換気してください。ほこりやタバコの煙が冷房装置に付いて、におうことがあります。
- 冷房中は乾燥ぎみとなり、タバコの煙で目が痛くなることがあります。目が痛くなったときは外気を導入してください。
- 体が冷え過ぎないように適温に調整してください。冷え過ぎは健康を損ないます。設定温度25℃付近でお使いください。
- 冷房・除湿機能は各部を潤滑するためにも月に2、3回程度作動させてください。
- 冷えない場合、冷媒不足も考えられます。お近くのスバル販売店で点検を受けてください。
- 冬場の始動時、風量調整（ファン）ダイヤルを「AUTO」にし、吹き出し口切り替えダイヤルを“”や“”、“”にしたとき、冷却水温が暖まるまで風量調整のオートモードは作動しません。
- 次の場合冷房・除湿機能は作動しません。
 - － 室内の温度が低いとき
 - － 外気温度が低いとき（0℃以下のとき）

■操作パネルの使いかた

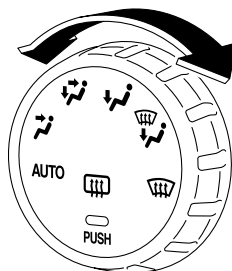
●吹き出し口切り替えダイヤル

使用目的に合わせて吹き出し口を切り替えます。

AUTO では適切な吹き出し口に自動制御されます。

内気循環時でも、ダイヤルを  あるいは  にしたときは、効果的に曇りを取るため、自動で除湿機能（A/Cスイッチ）がONになり、外気導入に切り替わります。

☆4-3ページ参照



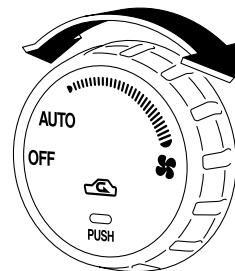
400068

●風量調整（ファン）ダイヤル

風量を7段階に調整できます。

右に回すほど強くなります。

AUTOでは適切な風量に自動制御されます。



400069

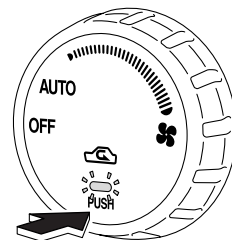
●内外気切り替えスイッチ

一時的に外気を遮断したい場合に使います。スイッチを押すごとに内気循環と外気導入が交互に切り替わります。

早く冷房したいとき、または冷房の効きを高めたいときには、内気循環をお使いください。表示灯が点灯しているときが内気循環です。スイッチを長押し（1秒以上）するとAUTOモードとなり内外気を自動制御します。

AUTOモードに切り替わると表示灯が2回点滅します。

AUTOモードを解除するには再度スイッチを押してください。



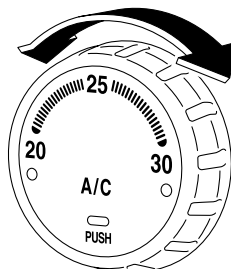
400070

注意

内気循環は必要なときだけ使い、通常は外気導入を使ってください。内気循環で長時間使うと、万一、排気管に腐食や損傷による穴や亀裂が生じた場合、排気ガスによる一酸化炭素中毒になるおそれがあります。また、ガラスが曇りやすくなりますので、内気循環で使用する場合は、A/Cスイッチを押して除湿機能を働かせて使用してください。

●温度調整ダイヤル

室内温度を調整するとき使います。温度設定は20～30℃の範囲で変更できません。ただし、ダイヤルを左端または右端に設定したときは最大冷房または最大暖房となります。



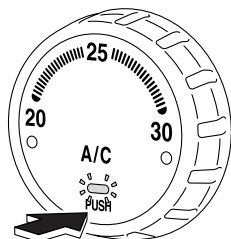
400071

アドバイス

風量調整をAUTO以外で使用すると、適温に温度調整されない場合があります。

●A/Cスイッチ

風量調整（ファン）ダイヤルが「OFF」以外
のとき、スイッチを押すと冷房・除湿機能が
作動し、スイッチ内のランプが点灯します。も
う一度押すと冷房・除湿機能は停止します。ス
イッチを長押し(1秒以上)するとAUTOモードと
なり、冷房機能のON/OFFを自動制御します。
AUTOモードに切り替わると表示灯が2回点
滅します。AUTOモードを解除するには再度
スイッチを押してください。

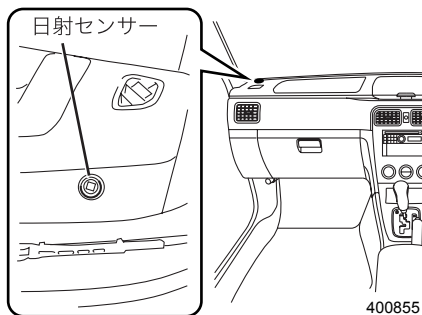


400072

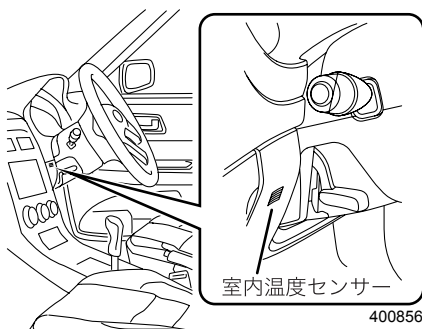
■感知センサー

オートエアコンには次のセンサーが付いています。

- 日射センサー（ダッシュボード左端）



- 室内温度センサー（運転席口カバー左側）



- 外気温度センサー（フロントバンパー裏側）





注意

センサーに衝撃を与えたり、水をかけたり、物を置いたりしないでください。
温度制御にずれが発生する原因となります。

■エアコンの使いかた

エアコン	吹き出し口 切り替え	風量調整	A/C スイッチ	温度調整	内外気 切り替え	アドバイス
冷房	AUTO または 	AUTO または 希望位置	AUTO モード または ON	希望位置 (中間よ り左側)	AUTO モード または 外気導入	<ul style="list-style-type: none"> 早く冷やしたいときは、内外気切り替えを内気循環にしてください。 冷房の効きを高めたいときは、内気循環をお使いください。
暖房	AUTO または 	AUTO または 希望位置	AUTO モード または 希望位置	希望位置 (中間よ り右側)	AUTO モード または 外気導入	<ul style="list-style-type: none"> ウインドウにも少し送風されますが、これはウインドウの曇りを防止するためのものです。 顔部が熱い場合は、温度調整ダイヤルを左側に動かし、適温に調整してください。
曇り除去と暖房	AUTO または 	AUTO または 希望位置	AUTO モード または 希望位置	希望位置 (中間)	AUTO モード または 外気導入	<ul style="list-style-type: none"> 温度調整ダイヤルの位置によっては曇り除去機能が低下する場合があります。
頭寒足熱	AUTO または 	AUTO または 希望位置	AUTO モード または 希望位置	希望位置 (中間)	AUTO モード または 外気導入	<ul style="list-style-type: none"> 温度調整ダイヤルを右または左いっぱいにするとう頭寒足熱にはなりません。冷風または温風のための吹き出しになります。
曇り除去	AUTO または 	希望位置	AUTO モード または ON	中間より 右側	AUTO モード または 外気導入	<ul style="list-style-type: none"> 夏期においてウインドウの曇りを除去する場合、温度調整は中間より左側でご使用ください。また、外気温度と吹き出し風の温度差が大きいと、ウインドウの外側が曇る場合があります。このときは冷房機能を「OFF」にするか、温度調整ダイヤルを右に動かしてください。
換気	AUTO または 	希望位置	AUTO モード または OFF	希望位置	AUTO モード または 外気導入	—————

注) 吹き出し口切り替えダイヤルを  あるいは  にすると、効果的に曇りを取るため、自動で除湿機能 (A/Cスイッチ) がONになり、外気導入に切り替わります。

オーディオシステム

あらかじめ知っておいていただきたいこと

注意

- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞いてください。車外の音が聞こえない状態で運転すると危険です。
- 運転者は車が止まっているときにラジオ・オーディオを操作してください。
- 内部に水や異物を入れないでください。故障の原因となります。
- お子さまがディスク挿入口に指を入れないようにしてください。けがの原因となるおそれがあります。

■ ラジオ受信について

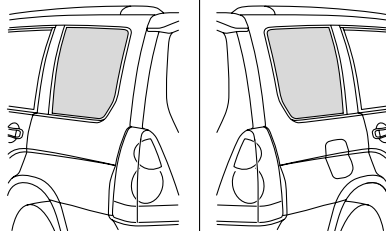
- 受信感度は周囲の状況、気象状況、送信局からの電波の強さ、送信局からの距離によって影響を受けます。山ろくや建物の近くでは電波がさえぎられたり、電波が反響したりして受信状態が悪くなることがあります。また、電車の架線や高圧電線の近くでは高圧電流の影響でノイズ（雑音）が入ったりするなど受信状態が悪くなることがあります。
- ラジオを聞いているとき、室内または車の近くで携帯電話や無線機を使うとノイズ（雑音）が入ることがあります。

■ アンテナについて

● ガラスアンテナ

アンテナは、左右のリヤウィンドウの内側にプリントされています。

スバル純正ナビゲーションシステム装着車は、TV 受信用アンテナアンプおよびフィーダー線を追加することにより、3 chダイバーシティアンテナとして、TV放送の受信が可能になります。詳しくはスバル販売店にご相談ください。



400519

室内装備品の使いかた

アドバイス

- リヤウィンドウ内側を清掃するときは、アンテナ線に沿って柔らかい布で拭いてください。硬い布で拭くとアンテナ線を傷つけることがあります。
- リヤウィンドウのアンテナ線部に次の物を貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）が入るおそれがあります。
 - － 金属を含有するウィンドウフィルム
 - － 外付けTVアンテナ
 - － その他の金属物

■CDについて

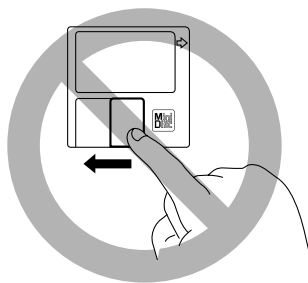
- 右図のマークがついている音楽CDを使ってください。右図のマークがないものは使えません。
- 大きい傷、変形、ヒビ等のあるディスクやハート型などの特殊形状をしたCDは使用しないでください。誤作動や故障の原因となる場合があります。
- 寒いときや雨天のときは、プレーヤー内に露が生じ、正常に作動しないことがあります。この場合CDを取り出し、しばらく待ってから再度CDを挿入してください。
- 炎天下に長時間駐車した後などはプレーヤーの温度が高くなり、正常に作動しないことがあります。温度が下がるまでしばらく待ってください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びすることがあります。
- ケースからディスクを取り出す場合、ケース中心部を押し、ディスクの両端を持ってください。また、ディスク面に直接触れると音が悪くなる場合がありますので、手を触れないようにしてください。
- ディスクは熱に弱いので直射日光の当たる場所やヒーター吹き出し口などの近くに置かないでください。ディスクが変形して使用できなくなります。
- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで傷をつけたりしないでください。
- ディスクはきれいなものをご使用ください。汚れている場合は、乾いた布で中心から外側に向かって拭いてください。硬い布やシンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。



400335

■MDについて

- MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが損傷して使用できなくなります。シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指でさわらないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。
- カートリッジ表面の汚れやゴミは乾いた布で拭き取ってから使用してください。とくに油污れが付いた状態で使用すると、ディスクが引き込まれなかったり、取り出せなくなることがあります。また、お手入れされるときは、シャッターを開けないようご注意ください。

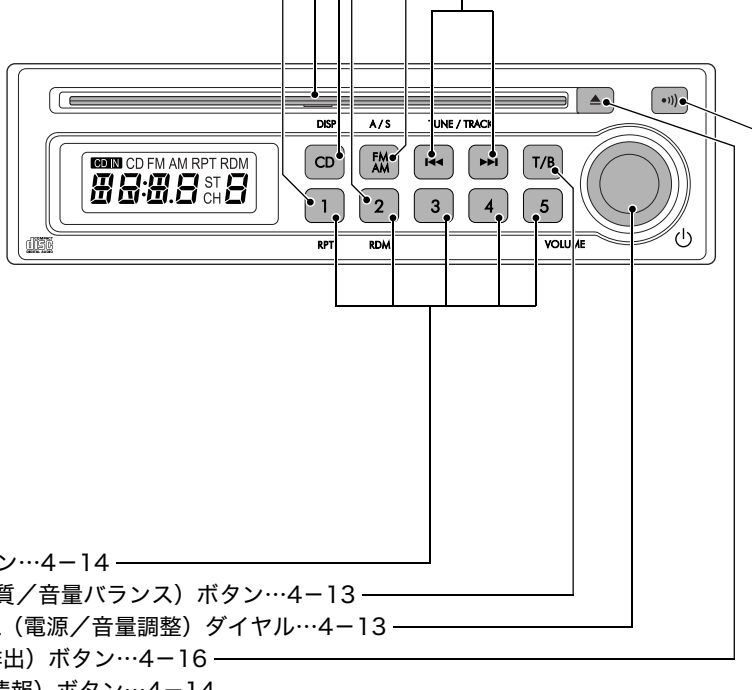


400834

- MDを長時間本体に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。
- MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。
- ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本体の中ではがれて取り出せないなど故障の原因となります。
- レンズクリーナーは使用しないでください。故障の原因となります。

AM/FM電子チューナー・CDプレーヤー

- ◀▶ (ラジオ選局) ボタン…4-14
- ◀▶ (CD選曲) ボタン…4-17
- FM/AM (FM/AM切り替え) ボタン…4-14
- RDM (ランダム演奏) ボタン…4-17
- CDボタン…4-15
- CD挿入口…4-15
- RPT (リピート演奏) ボタン…4-17



400857

- 選択ボタン…4-14
- T/B (音質/音量バランス) ボタン…4-13
- ON/VOL (電源/音量調整) ダイアル…4-13
- ▲ (CD排出) ボタン…4-16
- (交通情報) ボタン…4-14

■電源、音量・音質の調整

●電源を入れるとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、「ON/VOL」ダイヤルを押すごとに電源がON・OFFします。

電源がONになると、前に電源をOFFにしたときのモードになります。

🏠 アドバイス

次の操作を行っても電源をONにすることができます。

- CDを挿入したとき
 - 「CD」ボタン*、「AM/FM」ボタン、「●」ボタンを押したとき
- * 「CD」ボタンはCDが入っているとき

●音量を調整するとき

「ON/VOL」ダイヤルを回して調整します。

右に回す：音が大きくなります

左に回す：音が小さくなります

●音質と前後・左右の音量バランスを調整するとき

①「T/B」ボタンを押して調整モードを選択します。

ボタンを押すごとに

BAS (低音) —————→ TRE (高音)

↑
VOL (音量調整)

↑
FAD (前後) ←———— BAL (左右)

と、切り替わり、表示部に表示されます。

②「ON/VOL」ダイヤルを回してお好みの位置に調整します。

モード (調整レベル表示)	左に回す	右に回す
BAS (低音) (-7~+7)	低音減衰	低音強調
TRE (高音) (-7~+7)	高音減衰	高音強調
BAL (左右) (L6~R6)	右側減衰	左側減衰
FAD (前後) (R6~F6)	前側減衰	後側減衰

🏠 アドバイス

調整時、5秒間操作を行わないと、調整前の表示に戻ります。

■ラジオを聞くとき

●FM/AMを受信するとき













「FM/AM」ボタンを押します。

- バンドを切り替えるとき
「FM/AM」ボタンを押し、バンドを選択します。
ボタンを押すごとに
FM↔AM
と、切り替わり、表示部に表示されます。

●選局するとき

「 

」ボタンまたは「 」ボタンを押します。

- 周波数に合わせて放送を聞くとき
「 」ボタンを押す：
ボタンを押すごとに周波数の低い方へ1ステップずつ切り替わります
「 」ボタンを押す：
ボタンを押すごとに周波数の高い方へ1ステップずつ切り替わります
- 自動的に放送局を探すとき
「 」ボタンまたは「 」ボタンを0.5秒以上押します。放送局が見つかる
と受信を始めます。
「 」ボタンを押す：
周波数の低い方へ放送局を探します
「 」ボタンを押す：
周波数の高い方へ放送局を探します



アドバイス

- AM放送はモノラル受信のみです。
- FMステレオ放送受信中は表示部に“ST”が点灯します。

●記憶させた放送局を呼び出すとき

「選択」ボタンのいずれかを押します。




アドバイス

バッテリーを交換したときなどは記憶した内容が消去されます。この場合は再度記憶させてください。

☆4-15ページ参照

●交通情報を聞くとき

「

」ボタンを押します。

どのモードからでも自動的に切り替わります。
もう一度押すと、直前のモードに切り替わります。

■ラジオの放送局を記憶するとき

●手動で放送局を記憶するとき

- ①「FM/AM」 ボタンを押してバンドを選択します。
- ②「◀◀」 ボタンまたは「▶▶」 ボタンを操作し、記憶したい放送局を選択します。
- ③「選択」 ボタンのいずれか1つを2秒以上押します。
表示部に押したボタンの番号（チャンネル番号）が表示されます。



アドバイス

各バンド（FM、AM）で最大5局まで記憶できます。

●自動的に放送局を記憶するとき（AUTO STORE）

- ①「FM/AM」 ボタンを押してバンドを選択します。
- ②「FM/AM」 ボタンを2秒以上押します。
受信可能な放送局が見つかったら、チャンネル1から自動的に周波数の低い順に記憶されます。



アドバイス

受信電波が弱いと自動的に記憶できないことがあります。

●交通情報局をかえるとき

交通情報モード中に、「◀◀」 ボタンまたは「▶▶」 ボタンを押して選局し、「📶」 ボタンを2秒以上押します。表示部の周波数が一度点滅し記憶されます。

■CDを聞くとき

●CDを挿入する

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、CDを挿入することができます。CDの中心穴と端を挟んで持ち、CDのラベル面を上にしてCD挿入口に差し込みます。CDを挿入すると、表示部に「CD」が点灯し、演奏が始まります。

CD演奏中はトラック番号（曲番号）を表示します。

- ディスプレイを切り替えるとき
CD演奏中に「CD」 ボタンを押すごとに、
トラック番号表示 ↔ 演奏時間表示
と切り替わり、表示部に表示されます。
- CDが挿入されているとき
「CD」 ボタンを押すと演奏が始まります。CD演奏中はトラック番号（曲番号）
を表示します。

アドバイス

- 8 cmCD は 8 cmCD 用アダプターを使用せず、そのまま挿入してください。アダプターを使用すると、ディスクが取り出せないなど、損傷の原因となります。
- 音楽用CD-R、CD-RWに記録された音楽データを再生できます。ただし、CDの録音条件、特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。ファイナライズ（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R、CD-RWは再生できません。
- CD-ROMやMP3*、WMA*で記録されたCDは再生できません。
- CD・TEXTについては対応しておりません。
- CDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部に“ER-○”と表示されます。表示された場合は、「▲」ボタンを押してCDを取り出してください。CDに傷や変形がないこと、またCDプレーヤーに対応しているCDが正しく挿入されていることを確認してください。CDが取り出せない場合、もしくはCDを交換しても表示が消えない場合はスバル販売店で点検を受けてください。
*音楽データを圧縮して記録する方式

●演奏を停止するとき

「ON/VOL」ダイヤルを押して電源を切るか、他のモードに切り替えます。または「▲」ボタンを押してCDを排出します。

●CDを取り出すとき

「▲」ボタンを押します。CDが排出され、前のモードに切り替わります。

アドバイス

- エンジンスイッチがOFFでもCDの排出をすることができます。
- 排出されたCDを15秒以上そのままにしておくと、自動的に挿入されます。この場合、CDの再生モードに切り替わらずそのままの状態です。CDを聞くときは再度「CD」ボタンを押してください。
(エンジンスイッチがON、Accのときのみ)
- CDが未挿入のときでも「▲」ボタンを押すと、CD排出機構が動作し、動作音が聞こえます。

●選曲するとき

「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを押します。

- 先の曲にするとき
 - 「▶▶」ボタンを押します。押すごとに先の曲の頭出しをします。
- 手前の曲にするとき
 - 「◀◀」ボタンを押します。1回押すと今聞いている曲の先頭に、押すごとに手前の曲の頭出しをします。

●曲の早送り、早戻しをするとき

「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを押します。

- 早送り
 - 「▶▶」ボタンを0.5秒以上押すと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。
- 早戻し
 - 「◀◀」ボタンを0.5秒以上押すと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●同じ曲を繰り返し聞きとき（リピートプレイ）

- ① 曲の演奏中に「RPT」ボタンを押します。
- ② 表示部に“RPT”が点灯し、演奏中の曲を繰り返し演奏します。
- ③ 解除するには再度「RPT」ボタンを押します。表示部の“RPT”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

また、次の操作をしても自動的に解除されます。

- CDを排出する
- ランダムプレイ機能にする
- 曲の選曲をする
- エンジンスイッチをOFFにする
- 電源をOFFにする
- 他のモードにする
- 曲の早送り、早戻しをする

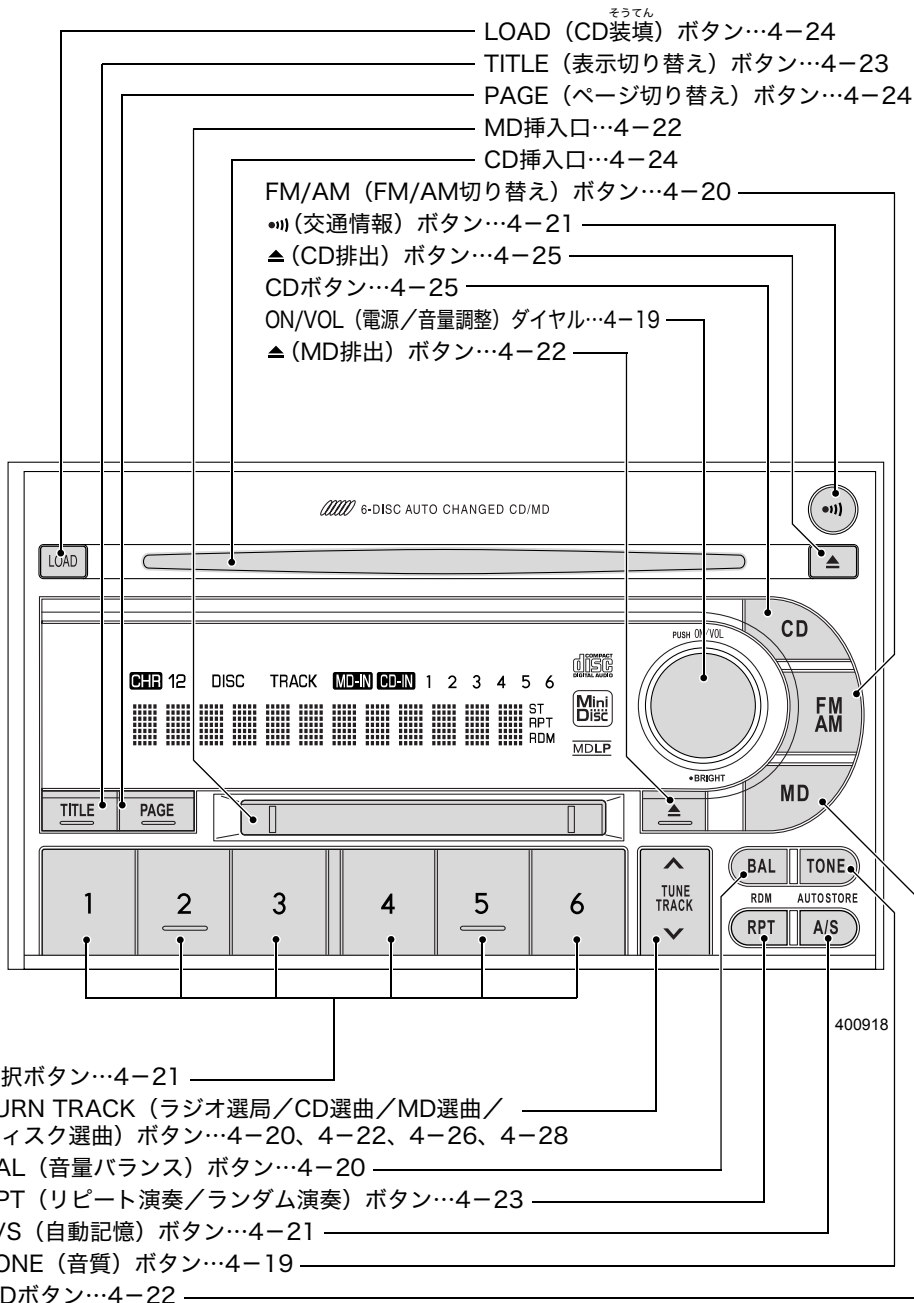
●曲を自動的に選ばせて聞きとき（ランダムプレイ）

- ① 曲の演奏中に「RDM」ボタンを押します。
- ② 表示部に“RDM”が点灯します。
- ③ 曲を自動的に選び演奏します。
- ④ 解除するには再度「RDM」ボタンを押します。表示部の“RDM”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

また、次の操作をしても自動的に解除されます。

- CDを排出する
- リピートプレイ機能にする
- 曲の選曲をする
- エンジンスイッチをOFFにする
- 電源をOFFにする
- 他のモードにする
- 曲の早送り、早戻しをする

FORESTER SOLID FORCE SOUND SYSTEM (CLARION製)



■電源、音量・音質の調整


●電源を入れるとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、「ON/VOL」ダイヤルを押すことに電源がON・OFFします。

電源がONになると、前に電源をOFFにしたときのモードになります。

アドバイス

次の操作を行っても電源をONにすることができます。

- CD、MDを挿入したとき
- 「」ボタン、「CD」ボタン*、「MD」ボタン*、「FM/AM」ボタンを押したとき
- * 「CD」ボタン、「MD」ボタンはCDまたはMDが入っているとき。

●音量を調整するとき

「ON/VOL」ダイヤルを回して調整します。

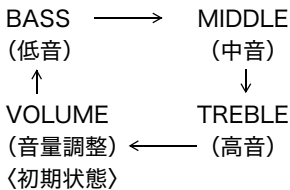
右に回す：音が大きくなります

左に回す：音が小さくなります

●音質を調整するとき

①「TONE」ボタンを押して調整モードを選択します。

ボタンを押すごとに



と、切り替わり、表示部に表示されます。

②「ON/VOL」ダイヤルを回し、好みの位置に調整します。

モード (調整レベル表示)	左に回す	右に回す
BASS (低音) (-6~+6)	低音減衰	低音強調
MIDDLE (中音) (-6~+6)	中音減衰	中音強調
TREBLE (高音) (-6~+6)	高音減衰	高音強調

アドバイス

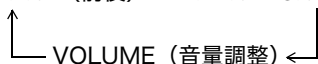
5秒間操作を行わないと、調整前の表示に戻ります。

●前後・左右の音質バランスを調整するとき

①「BAL」ボタンを押し、調整モードを選択します。

ボタンを押すごとに、

FADER (前後) → BALANCE (左右)



と、切り替わり、表示部に表示されます。

②「ON/VOL」ダイヤルを回し、お好みの位置に調整します。

モード (調整レベル表示)	左に回す	右に回す
FADER (前後) (R9~F9)	前側減衰	後側減衰
BALANCE (左右) (L9~R9)	右側減衰	左側減衰



アドバイス

5秒間操作を行わないと、調整前の表示に戻ります。

■ラジオを聞くとき

●FM/AMを受信するとき

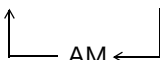
「FM/AM」ボタンを押します。

- バンドを切り替えるとき

「FM/AM」ボタンを押し、バンドを選択します。

ボタンを押すごとに

FM1 → FM2



と、切り替わり、表示部に表示されます。

●選局するとき

- 周波数に合わせて放送を聞くとき

「TUNE TRACK」ボタンの「∧」または「∨」を押します。

「∧」を押す：周波数の高い方へ1ステップずつ切り替わります

「∨」を押す：周波数の低い方へ1ステップずつ切り替わります

- 自動的に放送局を探すとき

「TUNE TRACK」ボタンの「∧」または「∨」を0.5秒以上押します。

放送局が見つかったと受信を始めます。

「∧」を押す：周波数の高い方へ放送局を探します

「∨」を押す：周波数の低い方へ放送局を探します

🏠 アドバイス

- AM放送はモノラル受信のみです。
- FMステレオ放送受信中は表示部に“ST”が点灯されます。


●記憶させた放送局を呼び出すとき

「選択」ボタンのいずれかを押します。

🏠 アドバイス

バッテリーを交換したときなどは記憶した内容が消去されます。この場合は再度記憶させてください。

●交通情報を聞くとき



「」ボタンを押します。

どのモードからでも自動的に切り替わります。

もう一度押すと、直前のモードに切り替わります。

■ラジオの放送局を記憶するとき

●手動で放送局を記憶するとき

- ①「FM/AM」ボタンを押してバンドを選択します。
- ②「TUNE TRACK」ボタンの「」または「」を操作し、記憶したい放送局を選択します。
- ③「選択」ボタンのいずれか1つを2秒以上押します。

表示部に選択したボタンの番号（チャンネル番号）が表示されます。

🏠 アドバイス

各バンド（FM1、FM2、AM）で最大6局まで記憶できます。




●自動的に放送局を記憶するとき

- ①「FM/AM」ボタンを押してバンドを選択します。
 - ②「A/S」ボタンを2秒以上押します。
- 受信可能な放送局が見つかったら、チャンネル1から自動的に周波数の低い順に記憶されます。

🏠 アドバイス

受信電波が弱いと自動的に記憶できないことがあります。

●交通情報局をかえるとき

交通情報モード中に「TUNE TRACK」ボタンの「」または「」を押して選局します。「」ボタンを2秒以上押すと、選局した交通情報局を記憶させることができます。

■MDを聞くとき

●MDが入っていないとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、MDを挿入することができます。MDのラベル面を上にし、シャッター面を右側にしてMD挿入口に入れます。MDを挿入すると“MD-IN” が点灯し、演奏が始まります。

●MDが入っているとき

「MD」 ボタンを押すと演奏が始まります。

アドバイス

MDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部に“PUSH EJECT”または“CHECK DISC”と表示されます。表示された場合は、「▲」ボタンを押してMDを取り出してください。MDに傷や変形がないこと、またMDプレーヤーに対応しているMDが正しく挿入されていることを確認してください。MDが取り出せない場合、もしくはMDを交換しても表示が消えない場合はスバル販売店で点検を受けてください。

●MDLPを聞くとき

通常のMDと同じ操作で聞くことができます。

アドバイス

- データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。
- MDLPのグループ機能には対応していません。

●演奏を停止するとき

「ON/VOL」ダイヤルを押すか、他のモード(ラジオ、CD、CDチェンジャー)に切り替えます。または「▲」ボタンを押してMDを排出します。

●MDを取り出すとき

「▲」ボタンを押します。MDが排出され、前のモードに切り替わります。

●選曲するとき

「TUNE TRACK」ボタンの「∧」または「∨」を押します。

- 先の曲にするとき
「∧」を押します。押すごとに先の曲を頭出しします。
- 手前の曲にするとき
「∨」を押します。1回目で今聞いている曲の先頭に、押すごとに手前の曲の頭出しをします。

●曲の早送り、早戻しをするとき

「TUNE TRACK」ボタンの「∧」または「∨」を1秒以上押します。

● 早送り

「∧」を長押しすると早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。

● 早戻し

「∨」を長押しすると早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●同じ曲を繰り返し聞きとき（リピートプレイ）

① 曲の演奏中に「RPT」ボタンを押します。

② 表示部に“RPT”が点灯し、演奏中の曲を繰り返し演奏します。

③ 解除するには再度「RPT」ボタンを押します。表示部の“RPT”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

また、次の操作をしても自動的に解除されます。

- 演奏を停止する
- 他のモード（ラジオ、CD、CDチェンジャー）にする
- ランダムプレイ機能にする
- エンジンスイッチをOFFにする

●曲を自動的に選ばせて聞くとき（ランダムプレイ）

① 曲の演奏中に「RPT」ボタンを2秒以上押します。

② 表示部に“RDM”が点灯します。

③ 曲を自動的に選び演奏します。

④ 解除するには再度「RPT」ボタンを押します。表示部の“RDM”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

また、次の操作をしても自動的に解除されます。

- 演奏を停止する
- 他のモード（ラジオ、CD、CDチェンジャー）にする
- エンジンスイッチをOFFにする

●表示部の表示を切り替えるとき

MD再生時、「TITLE」ボタンを押すことにより表示の切り替えができます。

トラック番号（曲番号）と演奏時間 ←



ディスクタイトル表示 (D-TITLE)



トラックタイトル（曲名）表示 (T-TITLE) →



アドバイス

- タイトル文字は1回に12文字まで表示できます。
- タイトル名が13文字以上の場合、タイトル表示中に「PAGE」ボタンを押すと、13文字以降のタイトルを表示します。
- MDにタイトルが記録されていない場合は表示しません。その場合“NO TITLE”と表示します。

●10曲先の曲にするとき

「PAGE」ボタンを押すと、10曲先の曲の頭出しをします。

10曲先の曲がない場合は、最後の曲の頭出しをします。

最後の曲の演奏中に「PAGE」ボタンを押すと、先頭の曲の頭出しをします。



アドバイス

- 10曲先の頭出しは、トラック番号とトラック演奏時間を表示しているときのみとなります。
- タイトル表示中は、ページ切り替え機能となります。

■CDを聞くととき

●CDを聞くととき（CDが入っていないとき）

「LOAD」ボタンを押して、下記の手順にしたがいCDを挿入します。CD演奏中はディスク番号とトラック番号（曲番号）を表示します。

• CDを挿入する

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、CDを挿入することができます。

- ①「LOAD」ボタンを押します。
- ②表示部に挿入するディスク番号が表示され、「LOAD」表示が点滅すると、挿入準備完了です。
- ③CDの中心穴と端を挟んで持ち、CDのラベル面を上にしてCD挿入口に差し込みます。CDを挿入すると演奏が始まります。

• 複数のCDを連続挿入するには

- ①「LOAD」ボタンを2秒以上押します。
- ②表示部に「ALL LOAD」と表示されます。
- ③CDの中心穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてCD挿入口に1枚ずつ挿入します。
- ④最初に入れたCDから演奏を始めます。

• 指定したディスク番号にCDを挿入するには

- ①「LOAD」ボタンを押します。
- ②選択ボタンの中から挿入するディスク番号を指定します。
- ③表示部に挿入するディスク番号が表示され、「LOAD」表示が点滅すると、挿入準備完了です。
- ④CDの中心穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてCD挿入口に挿入します。
- ⑤CDの演奏を始めます。



アドバイス

「LOAD」または「ALL LOAD」点滅後 15 秒間ディスクを挿入しないと、「LOAD」ボタンを押す前の状態に戻ります。

●CDを聞くととき（CDが入っているとき）

「CD」ボタンを押すと演奏が始まります。

🏠 アドバイス

CDの再生はディスク番号1→2→3→4→5→6→1…の順で再生されます。また、CDの入っていないディスク番号は飛ばして再生します。

●演奏するCDを指定するとき

CD演奏中に、選択ボタンの中から聞きたいディスク番号を押すと、指定したCDの演奏が始まります。

🏠 アドバイス

- 本機は12 cmCD専用です。8 cmCDは使用しないでください。損傷の原因となります。
- 音楽用CD-R、CD-RWに記録された音楽データを再生できます。ただし、CDの録音条件、特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。ファイナライズ（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R、CD-RWは再生できません。
- CD-ROMやMP3*、WMA*で記録されたCDは再生できません。
- CD・TEXTについては対応しておりません。
- CDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部に“PUSH EJECT”または“CHECK DISC”と表示されます。表示された場合は、「▲」ボタンを押してCDを取り出してください。CDに傷や変形がないこと、またCDプレーヤーに対応しているCDが正しく挿入されていることを確認してください。CDが取り出せない場合、もしくはCDを交換しても表示が消えない場合はスバル販売店で点検を受けてください。
*音楽データを圧縮して記録する方式

●演奏を停止するとき

次の操作をすると演奏を停止します。

- 電源をOFFにする
- 他のモードにする
- 「▲」ボタンを押す
- エンジンスイッチをOFFにする

●CDを取り出すとき

- 演奏中のCDを取り出すには「▲」ボタンを押します。

演奏を中止し、自動的にCDが排出されます。

⇒前ページより

- 演奏中以外のCDを取り出すには
「選択」ボタンで取り出したいディスク番号を選択した後、「▲」ボタンを押すと演奏を中止し、自動的に指定したCDが排出されます。
- 全てのCDを取り出すには
 - ①「▲」ボタンを2秒以上押します。
 - ②演奏中止後、表示部に“ALL EJECT”が点滅し、1枚目のCDが排出されます。CDを抜き出すと、次のCDが自動的に排出されます。排出されたCDを全て抜き出します。



アドバイス

- CDが排出されると電源は自動的にOFFになります。ただし、演奏前のモードがMDまたはラジオの場合は、そのモードに切り替わります。
- エンジンスイッチがOFFでもCDを排出することができます。
- 排出されたCDを15秒以上そのままにしておくと、自動的に挿入されます。この場合、CDの再生モードに切り替わらずそのままの状態です。CDを聞くときは再度「CD」ボタンを押してください。
(エンジンスイッチがON、Accのときのみ)

●選曲するとき

「TUNE TRACK」ボタンの「∧」または「∨」を押します。

- 先の曲にするとき
「∧」を押します。押すごとに先の曲を頭出しします。
- 手前の曲にするとき
「∨」を押します。1回目で今聞いている曲の先頭に戻ります。
続けて2回以上押すと、押した回数分前の曲に戻ります。

●曲の早送り、早戻しをするとき

「TUNE TRACK」ボタンの「∧」または「∨」を1秒以上押します。

- 早送り
「∧」を長押しすると早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。
- 早戻し
「∨」を長押しすると早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●同じ曲を繰り返し聞くととき（リピートプレイ）

- ① 曲の演奏中に「RPT」ボタンを押します。
- ② 表示部に“RPT”が点灯します。演奏中の曲を繰り返し演奏します。
- ③ 解除するには再度「RPT」ボタンを押します。
また、次の操作をしても自動的に解除されます。
 - 演奏を停止する
 - CDを排出する

- ランダムプレイ機能にする
- ディスクチェンジをする
- エンジンスイッチをOFFにする
- 他のモード（ラジオ、MD、CDチェンジャー）にする

●曲を自動的に選ばせて聞くととき（ランダムプレイ）

- ① 曲の演奏中に「RPT」ボタンを2秒以上押します。
- ② 表示部に“RDM”が点灯します。
- ③ 曲を自動的に選び演奏します。
- ④ 解除するには再度「RPT」ボタンを押します。表示部の“RDM”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

また、次の操作をしても自動的に解除されます。

- 演奏を停止する
- CDを排出する
- ディスクチェンジをする
- エンジンスイッチをOFFにする
- 他のモード（ラジオ、MD、CDチェンジャー）にする

■オプションのCDチェンジャーを接続したとき

●演奏するとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき「CD」ボタンを押すと演奏が始まります。表示部に“CHR”と表示され、ディスク番号とトラック番号（曲番号）が表示されます。

🏠 アドバイス

- プレーヤー本体にCDが挿入されているときは「CD」ボタンを押すごとに、プレーヤー本体での再生⇄CDチェンジャーでの再生に切り替わります。
- CDの再生はディスク番号1→2→3→4→5→6→1…の順で再生されます。また、CDの入っていないディスク番号は飛ばして再生します。CDチェンジャーにCDまたはマガジン*が装着されていないときは、“CD NO DISC”と表示します。
*マガジン：
ディスクを入れる入れ物のことです。このマガジンにCDを入れ、CDチェンジャーに装着するとCDチェンジャーが使用可能となります。
- CDチェンジャーが動作しなくなった場合は、表示部に“PUSH EJECT”または“CHECK DISC”と表示されます。表示された場合は、マガジンを取り出してください。マガジンに挿入されているCDに傷や変形がないこと、またCDチェンジャーに対応しているCDが正しく挿入されていることを確認してください。詳しくは、CDチェンジャーに付属している取扱説明書をご覧ください。

●演奏を止めるとき

「ON/VOL」ダイヤルを押して電源を切るか、他のモード（ラジオ、CD、MD）に切り替えます。

●演奏するCDを指定するとき

「選択」ボタンの中から、聞きたいディスク番号を押すと、そのCDを演奏します。



アドバイス

マガジンにCDが装着されていない番号を指定したときは、受け付けません。

●選曲するとき

「TUNE TRACK」ボタンの「∧」または「∨」を押します。

●先の曲にするとき

「∧」を押します。押すごとに先の曲を頭出しします。

●手前の曲にするとき

「∨」を押します。1回目で今聞いている曲の先頭に、押すごとに手前の曲の頭出しをします。

●曲の早送り、早戻しをするとき

「TUNE TRACK」ボタンの「∧」または「∨」を長めに押します。

●早送り

「∧」を0.5秒以上押すと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●早戻し

「∨」を0.5秒以上押すと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●同じ曲を繰り返し聞くととき（リピートプレイ）

①曲の演奏中に「RPT」ボタンを押します。

②表示部に“RPT”を表示させます。演奏中の曲を繰り返し演奏します。

③解除するには再度「RPT」ボタンを押します。表示部の“RPT”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

また、次の操作をしても自動的に解除されます。

- マガジンを取り出す
- ランダムプレイ機能にする
- エンジンスイッチをOFFにする

●曲を自動的に選ばせて聞くととき（ランダムプレイ）

①曲の演奏中に「RPT」ボタンを2秒以上押します。

②表示部に“RDM”が点灯します。

③曲を自動的に選び演奏します。

④解除するには再度「RPT」ボタンを押します。表示部の“RDM”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

また、次の操作をしても自動的に解除されます。

- マガジンを取り出す
- リピートプレイ機能にする
- エンジンスイッチをOFFにする

● マガジンの取り扱い

マガジンのチェンジャーへの挿入、チェンジャーからの排出方法、マガジンへのCD挿入、マガジンからのCD排出方法、その他のCDチェンジャーに関する注意は、CDチェンジャーに付属している取扱説明書をご覧ください。

🏠 アドバイス

- 本機は12 cmCD専用です。8 cmCDは使用しないでください。損傷の原因となります。
 - 音楽用CD-R、CD-RWに記録された音楽データを再生できます。ただし、CDの録音条件、特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。ファイナライズ（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R、CD-RWは再生できません。
 - CD-ROMやMP3*、WMA*で記録されたCDは再生できません。
 - CD・TEXTについては対応しておりません。
- *音楽データを圧縮して記録する方式

■ 表示部の減光機能キャンセル

ライティングスイッチを☺☺または☺☺にすると表示部の明るさが一段減光し、暗くなります。

昼間、ランプを点灯させて走るようなときで表示部が見にくい場合は、「ON/VOL」ダイヤルを2秒以上押しと減光機能がキャンセルされ、明るくなります。（BRIGHT機能）

🏠 アドバイス

ライティングスイッチOFF、エンジンスイッチLOCKの状態で、「ON/VOL」ダイヤルを長押しすることで通常の減光に戻ります。

下記の操作をすると通常の減光状態に戻ります。

- ライティングスイッチをOFFにする
- エンジンスイッチをLOCKにする
- 再度「ON/VOL」ダイヤルを2秒以上押し

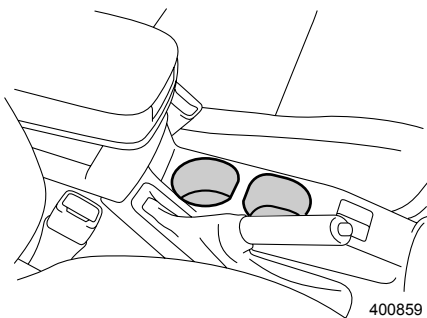
🏠 アドバイス

「ON/VOL」ダイヤルを2秒未満押しと、電源がOFFになります。

室内装備

カップホルダー

■前席用

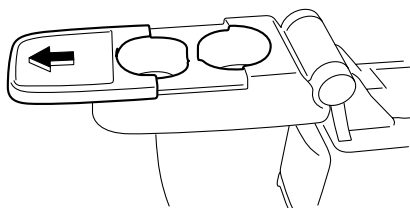


■後席用

●上部

フロントアームレストを後席側に倒すとカップホルダーと小物を置けるテーブルとして使えます。さらにテーブルを後方に引き出すと、もう1つカップホルダーが使えます。

テーブルを元の位置に戻すときは、テーブルの先端を押して戻します。



後席用カップホルダーを垂直の位置に戻すときはテーブルを元の位置に戻し、後席用カップホルダーを「カチッ」と音がするまで起こします。

⚠ 注意

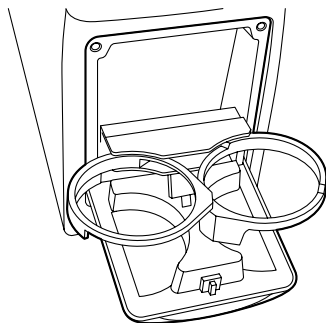
- アームレストを前方に倒している位置から後席用カップホルダーとして使用するときは、一旦アームレストを垂直の位置に戻してから後席側に倒してください。アームレストが損傷するおそれがあります。
- テーブルを使用するときは、重いものをのせないでください。損傷するおそれがあります。

許容荷重	2 kg
------	------

- 走行中にテーブルの上に物を置かないでください。急ブレーキやカーブなどのとき、物や熱い飲み物などが落ちて思わぬけがをするおそれがあります。

●下部


センターコンソール背面のフタを開けて使用します。
カップ、コーヒー缶などを置くことができます。



400092


警告

- 飲み物の出し入れは信号待ちなどの停車中に行ってください。走行中の使用は思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物などはやけどのおそれがありますのでご注意ください。

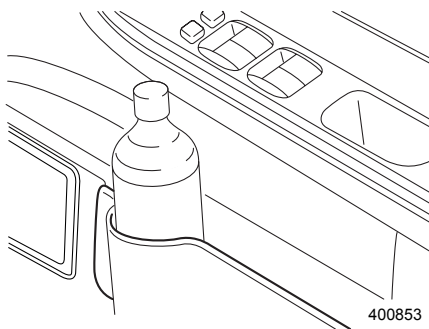

アドバイス

後席乗車時にはフタを閉めた状態にしてください。足をのせたり、ぶつかけたりすると破損の原因となります。

室内装備品の使いかた

ボトルホルダー

左右のフロントドアに各1つの小物入れ兼用のボトルホルダーがあります。



400853

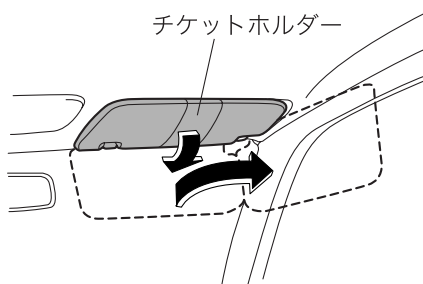
警告

- 飲み物の出し入れは信号待ちなどの停車中に行ってください。走行中の使用は思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物などはやけどのおそれがありますのでご注意ください。

サンバイザー

太陽光がまぶしいときにサンバイザーを降ろします。

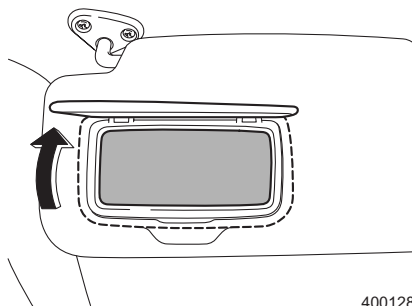
横に回すときはフックから外して使用します。運転席側にはチケットホルダーが付いています。



400860

■ バニティミラー

運転席および助手席サンバイザー裏側に鏡がついています。



400128

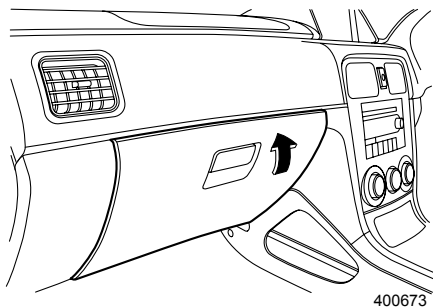
注意

走行中は必ずフタを閉めてください。

小物入れ

■グローブボックス

小物や書類を入れるのに使います。取っ手を引いて開けます。



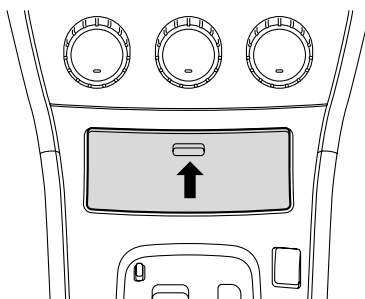
400673

⚠ 注意

走行中はグローブボックスを必ず閉めておいてください。万一の場合、開いたフタに体が当たるなどして思わぬけがをすることがあります。

■インストルメントパネル

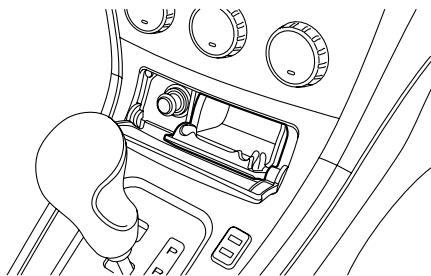
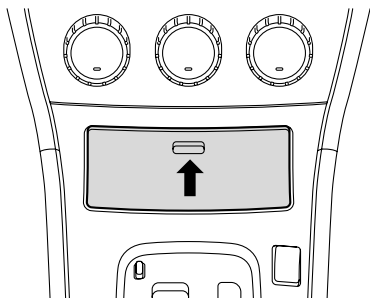
カバーの上側を押してカバーを開けると、小物入れとして使用できるようになります。



400087

●前席用灰皿（ディーラーオプション）

カバーの上側を押してカバーを開けると、灰皿のフタが開いて使用できるようになります。外すときは、灰皿のフタを持ち上げるようにして引き出します。



注意

- マッチ、タバコは完全に火を消してから入れ、確実に閉めてください。開けたままにすると火が他の吸ガラに燃え広がり、火災になることがあります。
- 紙くずなど燃えやすいものを入れないでください。
- 吸ガラをため過ぎないでください。



アドバイス

灰皿清掃時には、灰皿のフタのヒンジまわりのタバコの灰や燃えのこりをきれいに取り除いてください。

燃えのこりが詰まるとフタが開きにくくなる場合があります。

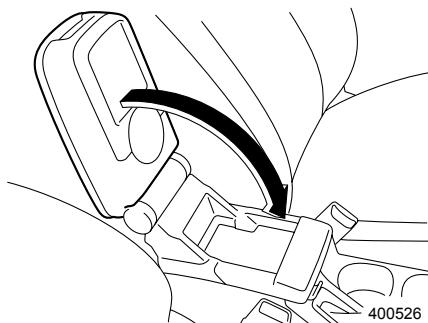
■マルチセンターコンソール

●フロントアームレスト

センターコンソールと一体の可倒式フロントアームレストです。

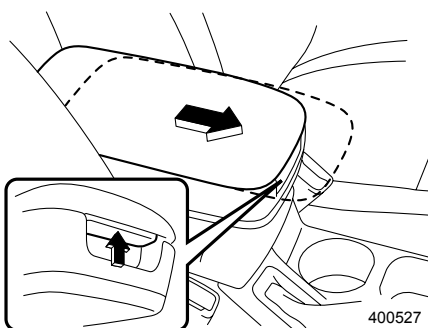
アームレストとして使用するときは

①アームレストを前方に倒します。



②アームレスト先端のノブを引き上げながらアームレスト上部を前方に押し固定します。運転姿勢に合わせて位置を調整してください。

元の位置へ戻すときは、ノブを引き上げながら戻します。



アドバイス

アームレスト上部が確実に固定されていることを確認してください。

アームレストを垂直の位置に戻すとき

アームレスト先端のノブを引き上げながらアームレスト上部を元の位置に戻し、アームレストを「カチッ」と音がするまで起こします。



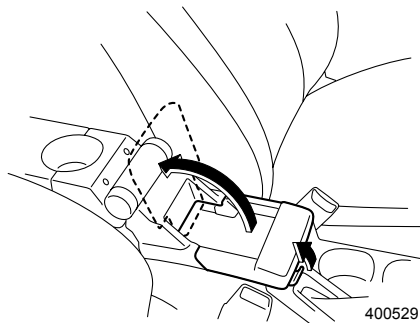
注意

- アームレストの上ののったり、重いものをのせたりしないでください。アームレストの損傷や思わぬけがをすることがあります。
- コンソールボックスのフタの上に物を置いている場合は、アームレストを前方に倒さないでください。損傷や思わぬけがをすることがあります。

●コンソールボックス

コンソールボックスを使うときは、フロントアームレストを垂直に起こすか、後席側に倒します。コンソールボックスのロックボタンを引き上げて、フタを開けます。

また、コンソールボックスのフタの上には、小物などを置くことができます。

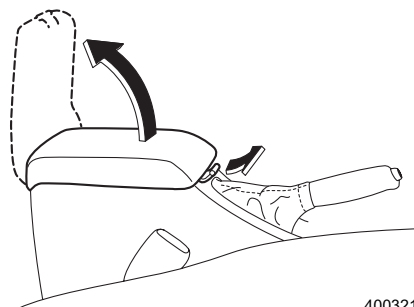


⚠ 注意

- コンソールボックスのフタを開ける場合は、アームレストを垂直に起こすか、後席側に倒してください。フタの損傷や思わぬけがをすることがあります。
- アームレストを起こしたり倒したりする際、コンソールボックスとの間に手を挟まないよう注意してください。

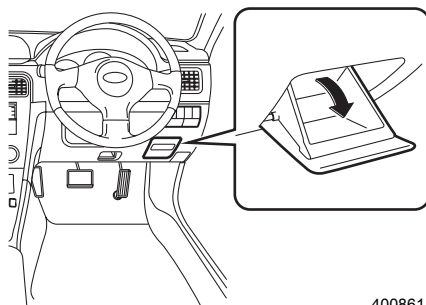
■センターコンソールボックス

取っ手を持ち上げるとフタが開きます。



■コイントレイ

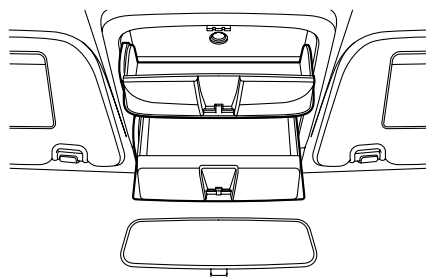
取っ手を引いて開けます。



400861

■フロントヘッドコンソール

表面を押すと開きます。



400094

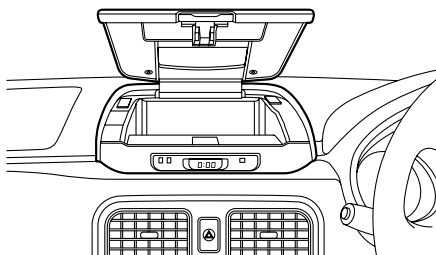
⚠ 注意

走行中は必ず閉めておいてください。万一の場合、フタに体が当たったり、中に入れたものが飛びだして思わぬけがをすることがあります。また、運転視界のじゃまになる場合があります。

炎天下での駐車は大変高温になりますので、メガネやライターなどを収納しないでください。

■ アッパーセンターポケット

ボタンを押すと、フタが開きます。



400095

⚠ 注意

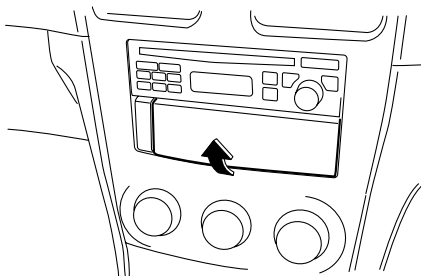
走行中は必ず閉めておいてください。万一の場合、フタに体が当たったり、中に入れたものが飛びだして思わぬけがをすることがあります。また、運転視界のじゃまになる場合があります。

また、炎天下での駐車は大変高温になりますので、メガネやライターなどを収納しないでください。

■ インストルメントパネルポケット

● 1DINオーディオ装備車

フタの下部を押すと開きます。





400663

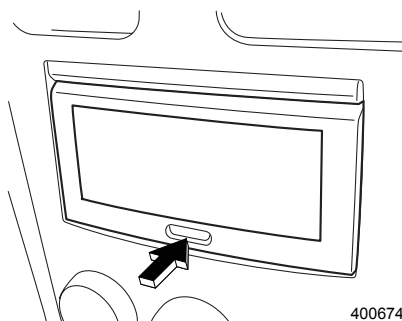
⚠ 注意

走行中は必ずフタを閉めておいてください。万一の場合、フタに体が当たったり、中に入れたものが飛びだして思わぬけがをすることがあります。



マルチボックス

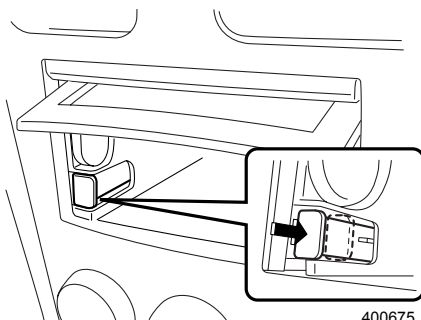
フタの下部を押すと開きます。

また、エンジンスイッチがONで、ライティングスイッチが  または  のとき、照明灯が付きま



400674

このポケットにはエアコンの風を使った保冷機能が備わっています。吹き出し口切り替えダイヤルが “” または “” のとき、保冷機能を使用することができます。保冷機能を解除するときは、ポケット左下の縁にあるシャッターノブを押します。保冷機能を使用するときは、シャッターノブを手前に引きま



400675

注意

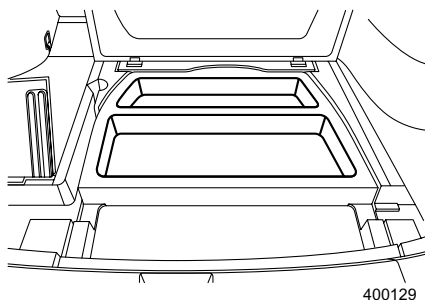
- 夏場などエンジンを止めた室内は高温になります。破裂するものや溶けるものを入れたままにしないでください。
- フタを開けたまま走行しないでください。中の物が飛びだし、思わぬけがをするおそれがあります。
- 開封後の飲み物を入れないでください。飲み物がこぼれると周辺機器の故障の原因となります。

アドバイス

- ポケット内の温度は、エアコンの設定温度と同じになります。また、風量もエアコンの設定と同じ風量になります。
- ポケットのフタを閉めると保冷状態になります。
- 温度変化の影響を受ける食べ物（アイスやチョコレート等）は入れないでください。

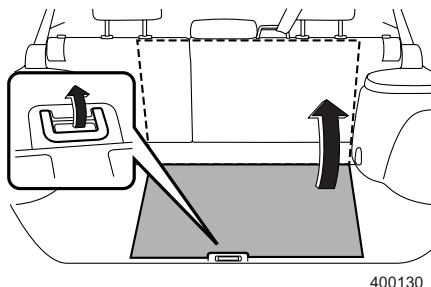
サブトランク

ラゲッジルームの床下に、小さい荷物を収納することができます。三角停止表示板も収納できます。ディーラーオプションのトノカバーを取り外したときは、サブトランク内に収納できます。



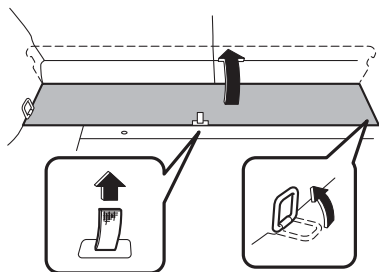
●サブトランクの使いかた

リッド（フタ）の取っ手を持って開けます。



●アンブレラボックス

サブトランク前側には、傘などを収納することができるアンブレラボックスがあります。

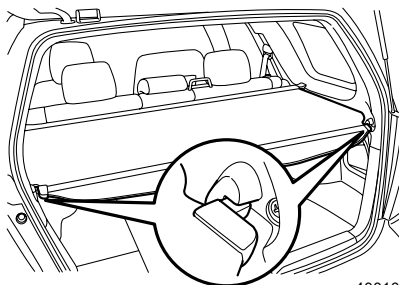


トノカバー（ディーラーオプション）

●使用するときには

トノカバー中央部を持ち、ゆっくりとフックの手前まで引き、下げるようにして両側のフックに引っかけます。

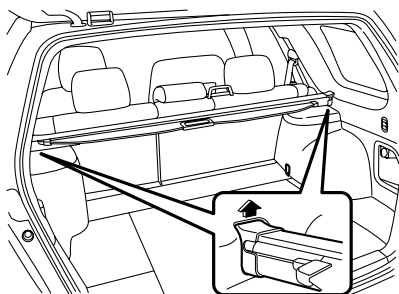
戻すときは中央部を持ち、一度手前に引いたまま持ち上げるようにしてフックから外し、ゆっくりと巻き戻します。



400106

●取り外すには

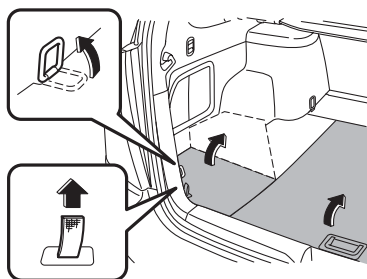
巻き戻した状態で、トノカバーの両端を持ち上げて取り外します。取り外したトノカバーは、サブランクに収納することができます。



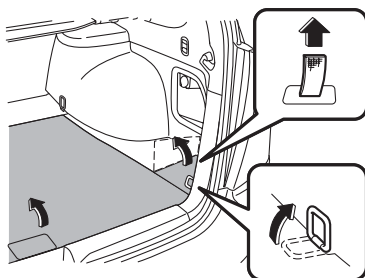
400107

●収納するには

サブランクの中央のリッド（フタ）と左右のリッド（フタ）を開けます。



400862

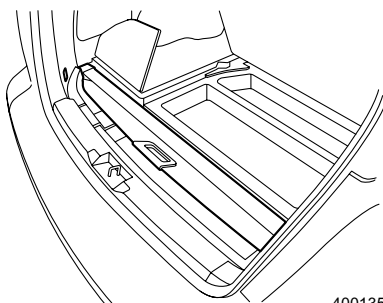


400863

次ページへ ⇒

⇒前ページより

トノカバーの取っ手部分を手前にして、トノカバーを収納します。



400135

●取り付けるには

トノカバーの両端を取付部にはめ込み、取り付けます。



アドバイス

トノカバーの上に物をのせないでください。
物が落下したり、トノカバーが損傷するおそれがあります。

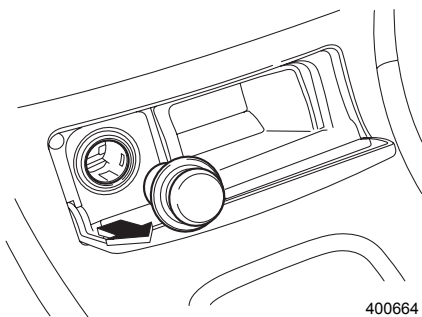
電源ソケット

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、12 V直流電源が取り出せます。

自動車用電気製品の電源ソケットとしてご使用ください。

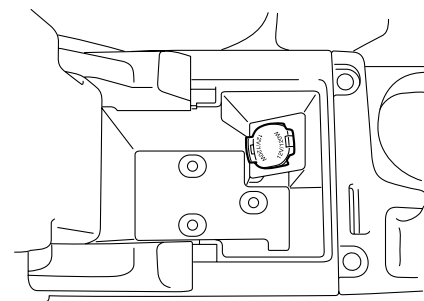
電源ソケットはインストルメントパネル小物入れ内、センターコンソール内、カーゴルーム側面に付いています。

インストルメントパネル小物入れ内



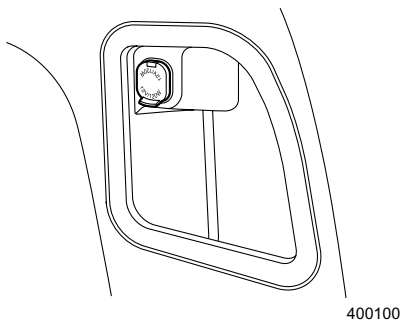
400664

センターコンソールボックス内




400533

カーゴルーム内張り




400100


注意

電源ソケットから電源を取るときは、スバル純正品の使用をお奨めします。自動車用電気製品は12 V 120 W以下のものをご使用ください。また、ご使用の際、下記項目をお守りください。

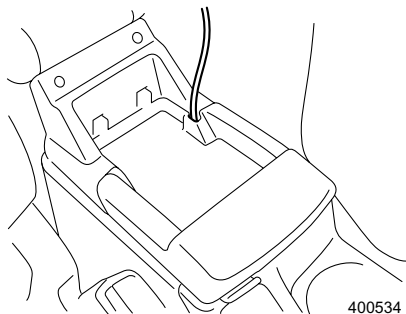
- 2つの電源ソケットを同時に使用する場合、自動車用電気製品の合計が120 W以下になるようにしてください。
- タコ足配線などはしないでください。発火の原因となる場合があります。
- 銀紙、硬貨などの異物を入れないでください。
- 電源ソケットがプラグに合わない（ガタがあったり、きつくて入らない）場合は、接触不良や抜けなくなる原因となります。ソケットに合ったプラグをご使用ください。
- エンジン停止状態またはアイドルリング状態のまま電気製品を長時間使用すると、バッテリー上がりを起こすことがありますのでご注意ください。また、走行中の使用でも、不要になったら切るように心がけてください。


アドバイス

電源コードを引き廻す際は下記事項をお守りください。

STI： コンソールのすき間から引き出してください。

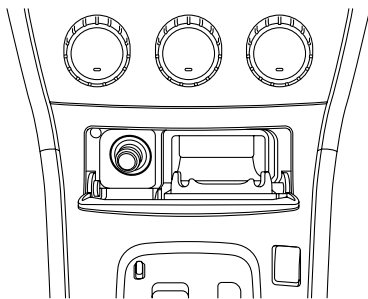
STI以外： 図のようにコンソールフタの凹部から引き出してください。



400534

■シガレットライター（ディーラーオプション）

シガレットライターをオプションで取り付けるときは、次の事項に注意してください。エンジンスイッチがAccまたはONのとき使用できます。シガレットライターを押し込んで手を離します。元の位置に戻ったら使用できます。



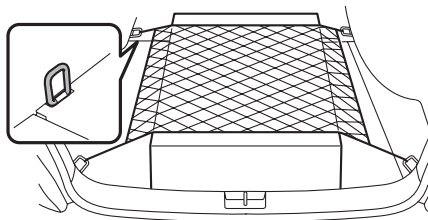
400098

⚠ 注意

- シガレットライターの金属部分には触れないでください。やけどをすることがあります。
- シガレットライターを押しつけたままにしないでください。シガレットライターが過熱して危険です。
- 30秒以上たっても戻らないときは、手で引き出してください。
- 他車のシガレットライターを使用しないでください。戻らなくなることがあります。
- 銀紙、硬貨などの異物は入れないでください。

カーゴフック

カーゴルームに4か所取り付けられています。カーゴルームネットなどを引っかけるときに使用します。



400136

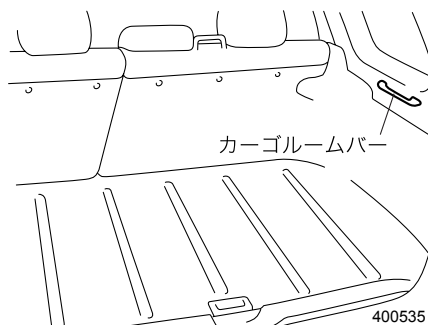
注意

このフックはカーゴルームネットなど軽量物の固定、引っかけの用途だけに限定してください。

許容引張り荷重	25 kg
---------	-------

■カーゴルームバー

ネットなどを引っかけるときに使用します。
左右に各1個ずつ装備されています。

**注意**

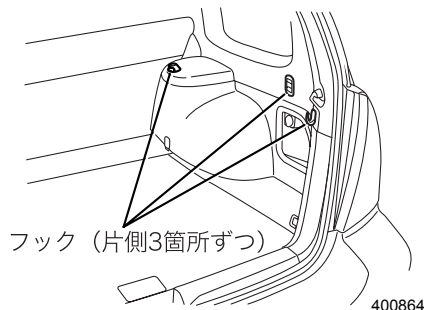
ネットなどを張ったときは、軽量物（衣類等）をのせる用途だけに限定してください。

許容引張り荷重	3 kg
---------	------

室内装備品の使いかた

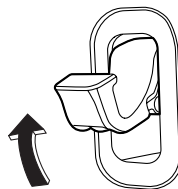
買い物フック**●カーゴルーム**

カーゴルームの左右6か所にあります。
買い物袋などが転がらないようにするときに
使用します。
袋の底を床につけ、手さげ部分をフックに巻
きつけて使ってください。



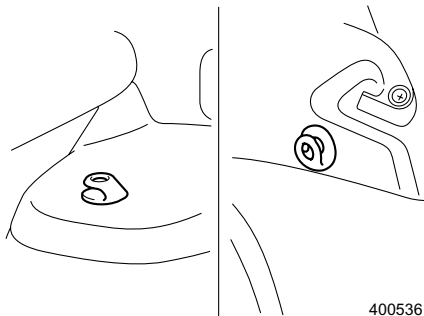
格納式フック：

フックを使用しないときは格納しておいてください。



400102

固定式フック：



400536

⚠ 注意

買い物フックは、買い物袋など軽量物の引っかけの用途だけに限定してください。

格納式フック：

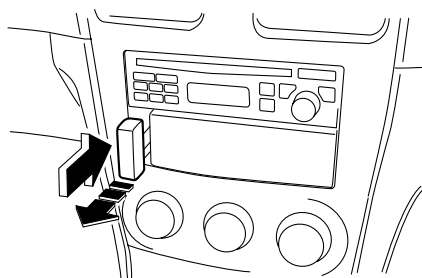
許容引張り荷重	3 kg
---------	------

固定式フック：

許容引張り荷重	3 kg
---------	------

●インストルメントパネル部 (1DINオーディオ付車)

フック表面を押すとフックが使えるようになります。



400865



注意

買い物袋などを引っかけた場合、チェンジレバーの操作の妨げにならないようにしてください。



アドバイス

- 買い物フックは、買い物袋など軽量物の引っかけの用途だけに限定してください。

許容引張り荷重	1 kg
---------	------

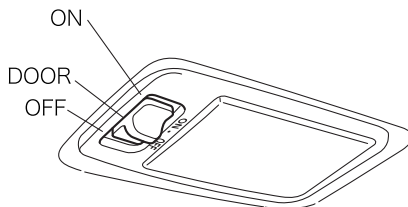
- カップホルダー、またはインパネセンターポケットを使用する場合は、買い物フックを格納してください。

室内の照明

■ルームランプ

車内の天井中央（後席上部）にあります。
スイッチの位置により切り替えができます。

- ON : 常に点灯します。
- 中間 (DOOR) : ドアを開けると点灯し、閉めると一定時間点灯後消灯します。
- OFF : 常に消灯します。



400125

●オフディレイ機能

スイッチを中間位置にしているときに、下記操作を行うと一旦点灯し、徐々に消灯していきます。(オフディレイ機能)

- ドアを開けて閉めたとき
- キーレスエントリー（電波式リモコンドアロック）で解錠したとき

●キー抜き連動機能

中間位置にしているとき、エンジンスイッチからキーを抜くと約30秒間点灯し、徐々に消灯していきます。

●バッテリー上がり防止機能

中間位置のとき、半ドアなどでルームランプが点灯し続けた場合、バッテリー上がりを防止するため、約30分後に自動的に消灯します。

自動消灯時、ルームランプが点滅し、ブザーが鳴ります。

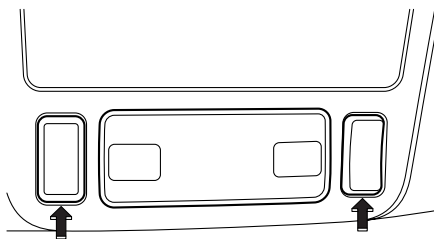
☆2-5ページ参照

■スポットマップランプ

右側のスイッチを押すと右側のランプが点灯します。もう一度押すと消灯します。

左側も同じように使います。

夜間、車を停めて地図を見るときなどに便利です。



400104

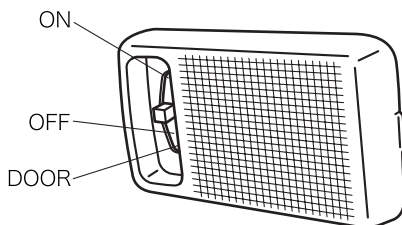
アドバイス

- 車から離れるときには消灯していることを確認してください。点灯しているとバッテリー上がりの原因になります。
- 長時間点灯したままにしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

■カーゴルームランプ

車内の天井後側（カーゴルーム上部）にあります。

- ON :常に点灯します。
- OFF :常に消灯します。
- DOOR :いずれかのドア（リヤゲート含む）を開けると点灯し、閉めると消灯します。



400126

●オフディレイ機能

スイッチをDOOR位置にしているときに、下記操作を行うと一旦点灯し、徐々に消灯していきます。（オフディレイ機能）

- ドアを開けて閉めたとき
- キーレスエントリー（電波式リモコンドアロック）で解錠したとき

●キー抜き連動機能

DOOR位置にしているとき、エンジンスイッチからキーを抜くと約30秒間点灯し、徐々に消灯していきます。

●バッテリー上がり防止機能

DOOR位置のとき、半ドアなどでカーゴルームランプが点灯し続けた場合、バッテリー上がりを防止するため、約30分後に自動的に消灯します。

自動消灯時、カーゴルームランプが点滅し、ブザーが鳴ります。

☆2-5ページ参照



アドバイス

- 車から離れるときには消灯していることを確認してください。点灯しているとバッテリー上がりの原因になります。
- 長時間点灯したままにしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

時計

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、時刻が表示されます。

●表示の合わせかた

時刻を調整するときは、アッパーセンターポケットのフタを開けて調整します。

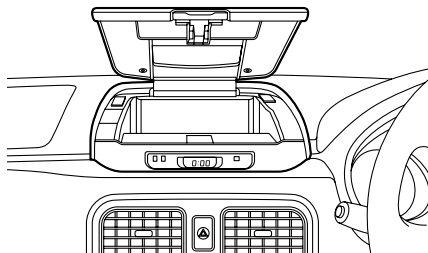
「時」の調整 …Hボタンを押します。

「分」の調整 …Mボタンを押します。

「時報合わせ」…時報と同時にRESETボタンを押します。

(例)1：01～1：29の場合…1：00

1：30～1：59の場合…2：00



400105



アドバイス

バッテリーの接続を外すと時刻が消去されます。バッテリーを接続後、正しい時刻に修正してください。